



いばらき県議会だより

No.213

茨城県議会 検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/mobile/gikai/>

「いばキラTV」 <https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

いばらきアマビエちゃんを利用しましょう

外出時には「いばらきアマビエちゃん」を積極的に利用しましょう。

県民全員で感染拡大防止と社会・経済活動との両立を図り、不当な偏見や差別などがない安心・安全な社会を創りましょう。

事業者や利用者の皆様への、いばらきアマビエちゃん登録の義務化などを規定した条例が、10月2日から施行されました。

| 条例のポイント(3本柱) | 皆様にお願ひする内容 |
|------------------------------|---|
| ①いばらきアマビエちゃんの登録の義務化(事業者・利用者) | 【事業者の皆様】 義務対象の施設・店舗などは、登録と感染防止対策宣誓書の掲示 【県民の皆様】 施設・店舗などでの利用登録 |
| ②県が行う調査・検査への協力義務 | 県が行う行動調査や、感染拡大地域での集中検査などへの協力 |
| ③不当な差別的取り扱いの禁止 | 感染者やその家族、医療従事者、事業者などへの不当な差別的取り扱いの禁止 |



◆いばらきアマビエちゃん◆
訪れた施設や店舗、イベントなどで陽性者が発生した場合、同じ日に施設などを利用した方に県からの注意喚起のメールが送信されるシステムです。



「茨 ひより(茨城県公認Vtuber)」

【お問い合わせ】県・中小企業課
TEL 029-301-5472

※こちらから
いばらきアマビエちゃん
アプリなどを確認
できます。



※こちらから
条例などを確認
できます。



いばらきの秋



筑波山

第三回定例会の概要

令和二年第三回定例会は、九月四日から十月一日まで二十八日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、小規模事業者に対する支援及び支援体制の拡充・強化に関する意見書など、知事から、令和二年度茨城県一般会計補正予算、茨城県新型コロナウイルス感染症の発生の予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例などが提出されました。同条例については、防災環境産業委員会及び保健福祉医療委員会による連合審査会※の審査などを経て、賛成多数で可決されました。

代表質問は、就任後四年目を迎える知事の県政運営の基本姿勢、茨城県PCR検査の方針と支援などの項目について行われました。(三、四回)

一般質問は、道路行政の推進、自主防災組織と防災士の活用、医療・福祉従事者などへの定期的PCR検査の実施などの項目について行われました。(四、六回)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、砂沼サンビーチ跡地の利活用、在宅避難者への支援物資の提供方法などを議論しました。(七回)

予算特別委員会では、ウイズコロナ時代の観光振興、不当な偏見・差別を禁ずる取り組みなどの質疑を行いました。(八回)

魅力向上に関する調査特別委員会では、中間報告を行いました。(二、三回)
決算特別委員会では、令和元年度茨城県公営企業会計決算の認定などについて審査が行われました。(二、三回)

今回の定例会では、予算、条例、人事、意見書、請願などの三十五件の議案が可決、同意、採択されました。

ことば ※[連合審査会] …事件の付託を受けた委員会が、他の関連する委員会と合同で審査し、又は調査するために開く会議。

令和二年七月臨時会 日程および概要

日程
令和二年七月二十八日(火)

- ・開会
- ・知事提出議案説明
- ・会派代表による質疑
- 令和二年七月二十九日(水)
- ・常任委員会
- ・委員長報告
- ・採決
- ・閉会

概要

令和二年七月臨時会は、七月二十八日から二十九日まで二日間の日程で行われました。

知事から、感染拡大防止策と医療提供体制整備、県民生活や県内産業支援のための令和二年度茨城県一般会計補正予算案一件および専決処分報告一件の議案が提出され、各会派から、提出議案についての代表質疑が行われました。常任委員会の審査を経て、本会議での採決の結果、これら二件の議案は可決、承認されました。

● 質疑者

- 川津 隆 (いばらき自民党)
- 設楽 詠美子 (県民フォーラム)
- 高崎 進 (公明党)
- 山中 たい子 (日本共産党)

議場での質疑の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。



感染拡大防止策と医療提供体制整備、県民生活・県内産業支援を審議 7月臨時会 代表質疑(要旨)



川津 隆 議員
いばらき自民党
水戸市・城里町選出
一括方式

経済状況の見通しを踏まえた産業支援

議員 世界経済がコロナショックと言えざる状況の中、地域経済を守るためにも、先行き不透明な業態への支援をどう進めていくのか。

知事 無利子・無担保の融資制度などの周知に努めるほか、影響が大きい宿泊、飲食などの業種では、県内宿泊の促進や県産品の販路拡大、タクシー事業者によるデリバリーモデルの構築などを支援していく。また、感染防止対策を講じる事業者へ「いばらきアマビエちゃん」の導入促進を図り、プレミアム商品券や家賃助成といった市町村の支援策に助成するなど、地域経済を強力に下支えしていく。

医療従事者等へのケア

議員 強い使命感で現場に立つ医療従事者に寄り添い、県民の心の応援ネットワークを広げる取り組みを進めてもらいたい。所見は。

知事 クラップ・フォー・ケアアライズや、県独自の応援金制度への寄附を通じて寄せられる多数の応援メッセージなどにより、県民一体で医療従事者などへ感謝を伝える取り組みを進めている。さらに、新たに慰労金を給付し、その功労に報いるとともに、差別や偏見を受けられることなく、安心して医療に従事できるよう、現場の皆様へ寄り添った支援に取り組んでいく。(ほかに、補正予算の編成方針、県民生活への支援なども質疑)



設楽 詠美子 議員
県民フォーラム
筑西市選出
一括方式

医療・福祉機関などの徹底した感染予防対策の充実

議員 受診控えは重大な健康被害につながる可能性もあるため、県民が安心して受診できる対策が必要だ。県民の安心と健康を守るため、地域医療を担う医療機関や薬局などをどう支援していくのか。

知事 四月以降の感染拡大防止対策などに要する費用を補助する補正予算案を提出し、当該費用を幅広く補助の対象とする予定であり、医療機関などへの周知徹底を図っていく。介護・障害福祉施設への助成も現在調整を進めている。(ほかに、医療・福祉従事者などへの慰労金、Withコロナにおける中小企業支援なども質疑)



高崎 進 議員
公明党
水戸市・城里町選出
一括方式

検査体制の拡充に向けた取り組み

議員 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取り組みが、今、最も重要である。特に第2波への備えとして、検査体制の拡充が求められるが、取り組みは。

知事 今後、県衛生研究所に検査機器を整備し、民間検査機関などの協力を得て検査可能件数を拡大し、地域外来・検査センターの増設も前倒しで進める。また、クラスター対策として検査対象者の範囲を拡大するほか、抗原定量検査などの新たな検査技術の導入に向け、医療機関の機器整備を支援していく。(ほかに、感染防止対策の強化、中小企業等への支援強化なども質疑)



山中 たい子 議員
日本共産党
日くば市選出
一括方式

医療機関への財政支援

議員 医療機関は深刻な経営危機に直面している。関係団体は国に抜本的な財政投入を要望し、緊急的には、過去の診療実績に基づき減収を補填する診療報酬の概算払いを求めている。医療機関への財政支援、減収補填について知事の所見は。

知事 国の第二次補正予算に連動し、病院などの感染拡大防止対策など速やかに医療機関への支援を行うこととした。今後も県内医療機関の経営状況などを注視しながら、全国知事会とも連携し、国に支援策の拡充を強く要望していく。(ほかに、保育士などに対する慰労金など地方創生臨時交付金の活用も質疑)

第三回定例会で「魅力向上に関する調査特別委員会」の中間報告を行いました

本委員会(川津隆委員長)は、今年六月以降これまで五回開催し、県執行部から説明を聴取するとともに、情報発信の分野で活躍する企業の代表者の話を伺うなど、活発な議論を行ってまいりました。

中間報告では、県の特色ある地域資源を発掘して磨き上げ、国内外へ効果的に発信することや、探究的な学びに向けた教育の充実など、県の魅力向上のため重点的に取り組むべき事項をとりまとめました。

そして、委員会での議論の趣旨が、予算や組織体制などに適宜的確に反映され、効果ある施策が速やかに実施されるよう知事に求めました。

今後も、最終報告書の取りまとめに向け、引き続き精力的に調査検討を進めてまいります。



中間報告を行う星田弘司副委員長

決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会(萩原勇委員長)では、九月十六日に付託された「令和元年度茨城県公営企業会計決算の認定」および「令和元年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分」について、九月二十五日に委員会を開催し、審査を行いました。

審査にあたっては、公営企業を所管する企業局、病院局、土木部の各部署から事業実績などの説明を聴取するとともに、

監査委員に決算審査意見を求め、詳細な審査を行いました。

今後は、十月一日に付託された「令和元年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」について、閉会中に委員会を開催して部局ごとの審査を行い、第四回定例会の会期中の委員会において総括質疑、採決を行う予定です。

ことば ※【クラップ・フォー・ケアアライズ】…Clap For Carers。新型コロナウイルスに対峙する医療従事者をたたえるため、決まった時間に、趣旨に賛同した方々が医療従事者に拍手を送る運動。

第3回定例会 の主な日程

令和2年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 9月4日(金) **本会議**
(開会、知事提出議案説明)
- 9月9日(水) **本会議**
10日(木) (代表質問・質疑)
- 9月11日(金) **本会議**
14日(月) (一般質問・質疑)
- 9月15日(火) **本会議**
16日(水)
- 9月18日(金) **常任委員会**
23日(水)
- 9月24日(木) **本会議**
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 9月25日(金) **決算特別委員会**
- 9月28日(月) **予算特別委員会**
- 9月29日(火) **魅力向上に関する調査特別委員会**
- 10月1日(木) **本会議**
(委員長報告、採決、閉会)

代表質問※(要旨)

**就任後四年目を迎える
知事の県政運営の基本姿勢**

議員 多方面に影響をもたらす施策を推し進める際には、県議会に丁寧な説明を行い、議論を通じて、県民の声を反映させていくべきである。四年目を迎える大井川知事は、一度立ち止まり初心に戻り、県議会と真摯に向き合い、よりよい新しい茨城づくりを一緒に目指して欲しいと考えるが、残りの任期を県議会とどう向き合っていくのか。

知事 ささまざまな行政課題に機動的に対応していくため、県議会と一体となってスピード感を持って効果的な施策を展開していく必要がある。引き続き、県議会とは連携・協力して政策議論を重ねながら、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現という共通の目標に向かって、ともに挑戦していきたい。



飯塚 秋男 議員
いばらき自民党
下妻市選出
一括方式

保健所の再編

議員 新型コロナウイルス感染拡大が迫る中、老朽化が激しい保健所庁舎の改築、更新を視野に入れて保健所の再編を検討しなければ、保健所の機能強化は机上の空論に終始してしまう。改めて保健所の機能強化・人員確保に向けた対応を検討すべきと考えるが知事の所見は。

知事 保健所への県庁職員の派遣や退職した保健師の雇用、市町村保健師の応援要請など、保健所の機能が十分果たされるよう努めてきた。保健所庁舎については、老朽化が進み修繕では「新しい生活様式」への対応が難しい庁舎もあるため、今年度中に「保健所庁舎の整備等に係る基本方針」を策定し、今後の社会情勢や地域実情の変化を踏まえながら整備を進めていく。

県西地域の将来像

議員 県西地域の輝ける夢のある未来図の実現に向けて、将来像を描く必要があると考えるが、県は、どのような方向性を示していくのか。

知事 地下鉄八号線の県内延伸の前提となる野田市までの延伸の早期事業化に向け、国に要望活動などを行っていく。県西縦断道路は沿線自治体が組織する協議会への参画を通じて、引き続き支援していく。砂沼サンビーチ跡地は持続的で魅力的な拠点となるよう検討していく。こうした取り組みにより、県西地域のポテンシャルを最大限発揮し、住みたい地域として、また、観光や投資の対象として県内外の方々から選ばれる地域となるよう全力で取り組んでいく。

感染症対策を踏まえた 複合災害対策

議員 感染拡大との複合災害が懸念される中、甚大な被害が広域的に発生した場合には、市町村単独で対応することは極めて困難である。市町村域を超えた広域避難所の設置などを視野に入れ、県は市町村にどのような支援策を講じていくのか。

知事 広域避難については、国や県、流域市町村で構成する「鬼怒川・小貝川減災対策協議会」



県西地域と首都圏をつなぐ圏央道(常総IC付近)

において大規模水害時の広域避難に係る協定を締結したので、他の主要河川の協議会でも導入を働き掛けている。また、茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合と「災害時における宿泊施設等の提供に関する協定」を締結し、ホテルや旅館を広域的な避難施設として活用するなど、市町村の災害対応を支援していく。(ほかに、本県農業の担い手確保や小中学校における学校行事への不安解消なども質問)

質問者

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます



9月9日(水) **飯塚 秋男** (いばらき自民党)

9月10日(木) **田村 けい子** (公明党)

田村 けい子 (公明党) **設楽 詠美子** (県民フォーラム)

茨城県PCR検査の方針と支援

議員 不特定多数の人と接することが避けられない業種、特に医療や介護・保育などに従事する方が定期的にPCR検査を受けられる体制を整備し、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る必要があるが、所見は。

知事 医療機関や高齢者施設の従事者を対象とした定期的な検査の実施を検討している。希望により全額自己負担での検査環境整備の方針が国から示されたが、国の負担による行政検査としての実施を働き掛けていく。



設楽 詠美子 議員
県民フォーラム
県西市選出
一括方式

障がい者の就労支援

議員 本県は障がい者の雇用率と福祉的就労の工賃が全国下位の状況にある。障がいのある方も地域社会で生涯を安心して暮らせるよう、社会参加の促進と安定的な生活の維持に不可欠である、働く場の確保と工賃向上を今後どう進めていくのか。

知事 茨城労働局と連携して法定雇用率未達成企業の個別訪問を強化するとともに、優良企業に対しては、県主催の就職面接会への優先参加などで障害者を積極的に雇用する企業を支援する。工賃向上は、農福連携の推進や市町村などへの訪問活動強化でさらなる優先調達に努める。併せて、最低賃金に準ずる仕組み導入について検討を進める。

いばらき家の愛を育む里親推進

議員 県民を一つの家族「いばらき家」と捉えて助け合うことが重要である。生みの親の下で育つことができない子どもたちが、温かな愛情の中で育つ環境を整えていくためにも里親委託の推進は不可欠である。また、速やかな里親の登録または認定に結びつくよう審議会の回数増を提案するが、所見は。

知事 登録里親を増加させるため、積極的な周知広報や説明会の資質向上にも取り組む。長期的に実親の養育が望めない新生児などの場合は、児童相談所で養子縁組の検討を進めていく。親族里親の認定は、必要に応じた臨時的な審議会も検討していく。

(ほかに、新型コロナウイルス感染症に係る偏見・差別の予防対策、いばらきの梨「恵水」のブランド育成、「地方からジェンダー平等を」選択的夫婦別姓なども質問)



里親委託の推進を

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。

代表質問(要旨)



田村 けい子 議員 民主党 出 市選 一括方式

治水対策の推進

議員 全国で水害が深刻化して...

知事 流域治水は重要な取り組み...

点検・整備、研修会を実施する...

少子化対策の強化

議員 少子化対策として、若い世代を...

知事 いばらき出合いサポートセンターに...

多様な働き方の促進のため、モデル...



復旧した那珂川の堤防(那珂市下江戸地区)

特色ある教育の推進

議員 中高一貫教育校の方向性を...

教育長 中高一貫教育校では、...

実践的な教育を推進していく。また、...

の導入も進めていく。(ほかに、...

一般質問(要旨)

質問者

9月11日(金)

田口 伸一 (いばらき自民党)

岡田 拓也 (いばらき自民党)

江尻 加那 (日本共産党)

9月14日(月)

玉造 順一 (立憲民主党)

村田 康成 (いばらき自民党)

高安 博明 (県民フォーラム)

9月15日(火)

中村 修 (いばらき自民党)

八島 功男 (公明党)

大瀧 愛一郎 (いばらき自民党)

9月16日(水)

豊田 茂 (無所属)

磯崎 達也 (いばらき自民党)

石井 邦一 (いばらき自民党)

議場の質問の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます



田口 伸一 議員 民主党 出 市選 分割方式

道路行政の推進

議員 鹿行地域を南北に走る二本の重要な...

土木部長 茨城鹿島線は、用地買収の完了した...

整備を優先して進めていく。

PCR等の検査体制の戦略的強化

議員 今後、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念される。PCRなどの検査体制をどのように強化するのか。

保健福祉部長 インフルエンザの流行期を見据え、発熱患者が直接地域の身近な医療機関に電話相談の上、受診し、必要に応じて検査につなげられる体制を整備する。(ほかに、...

対策と避難所の支援、東京オリピック延期の対応なども質問)



整備が必要な茨城鹿島線の様子(鹿嶋市須賀地区)



岡田 拓也 議員 いばらき自民党 高萩市・北茨城市選出 分割方式

自主防災組織と防災士の活用

議員 地域防災力を高めるため、防災リーダーとなる防災士のさらなる活躍が必要である。自然災害を想定した平時および緊急時の自主防災組織と防災士の活用についてどう考えるのか。

防災・危機管理部長 自主防災組織は緊急時に住民の安否確認などの対応が期待されるため、防災訓練の実施など活動の充実強化を促す。防災士にはいばらき防災大学の講師など活躍できる場を提供し、市町村にも活用を働き掛けていく。

学校のICT化

議員 学校のICT化に向け、タブレット端末の整備が今後進むことになるが、運用方法とその活用についてどう考えるのか。

教育長 ICT支援員やGIGAスクールサポーターの配置を進め、教員の不安や負担の解消に努める。県教育研修センターと連携し、継続的に教員研修を実施していく。(ほかに、...



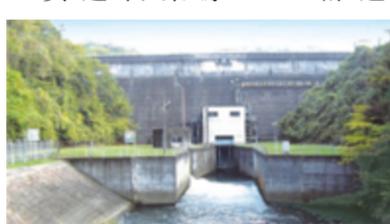
タブレット端末を活用した授業の様子

台風・豪雨被害をふまえた河川・ダム治水対策

議員 藤井川上流ダムにおける事前放流の運用、また国田地区へのコンクリート擁壁整備が示された。この対策で水害を防げるのか。

土木部長 ダムの洪水調節容量が約二割増加し、下流の洪水被害軽減に寄与する。コンクリート擁壁対策は堤防並みの安全性があり、河道掘削などと併せ、昨年規模の洪水時の越水を防ぐ計画である。(ほかに、...

東海第二原発、新産業廃棄物最終処分場問題なども質問)



洪水調節を強化したダム治水

※1【樋管】...河川から取水や排水をするために、堤防を横断して設置される管。
※2【事前放流】...大雨が降りだす前に、ダムの水位を下げて、ダムに貯められる水の量を増やすこと。
※3【ダムの洪水調節容量】...洪水時に、ダムに水を貯められる容量。



玉造 順一 議員
立憲民主党
水戸市・城里町選出
分割方式

いばらきアマビエちゃん

議員 県民が安心していばらきアマビエちゃんを利用するために、県が保有するメールアドレスの取り扱いについて、しっかりと説明する必要があると考えるが、所見は。知事 アマビエちゃんで県が取得するメールアドレスは、一カ月経過後、データ消去システムで消去されている。加えて、情報へのアクセス権限も必要者に限定するなど、個人情報取り扱いには万全を期しており、今後は、こうした取り組みの広報も強化していく。



村田 康成 議員
いばらき自民党
神栖市選出
分割方式

神栖市の県立高校の課題と更なる学力向上のための取り組み

議員 神栖市では毎年二百人以上の中学校卒業生が県外高校へ流出している。この現実を直視し、原因を分析し、市内県立高校のさらなる学力向上にどう取り組むのか。教育長 市内中学校卒業生の進学ニーズに必ずしも応えられていなかったことが一因と考える。大学進学を目指した学力の向上のため、高校が校長のリーダーシップの下で議論を積み上げ、進学に特化した教育課程再編成に取り組むよう指導・助言していく。

新型コロナウイルス感染症に対応した東海第二原発に係る広域避難計画の見直し

議員 東海第二原発に関する感染症流行下での原子力災害対策について、現在の検討状況と課題は。また、今後、広域避難計画の見直しを検討する市町村への支援は。防災・危機管理部長 避難所や避難車両などでのスペース確保が課題である。市町村と課題解決に努め、感染症流行下でも避難計画の実効性が確保できるよう取り組む。(ほかに、インフルエンザ対策、消費者行政なども質問)



個人情報の適切な取り扱いを

ソサエティ5.0※1先進県を見据えた新しい茨城づくり

議員 来るべきソサエティ5.0を見据えた新しい茨城づくりの実現に向けて、県総合計画にソサエティ5.0をどう位置付けるのか。知事 来年度以降の総合計画改定でソサエティ5.0の位置付けを検討する。デジタル技術を積極的に取り入れ、他地域に先駆けてソサエティ5.0の実現に取り組む。(ほかに、神栖済生会病院の充実、鹿島臨海工業地帯立地企業支援のたぐりな子ども質問)



Society5.0社会へ向けて



高安 博明 議員
県民フォーラム
日立市選出
一括方式

地方創生による若者の県内定住の推進

議員 コロナ禍で地方での暮らしが注目される中、地方創生を推進することにより若者の東京圏への流出を抑制し、本県への定住を促進すべきと考えるが、所見は。知事 引き続きAIなど成長分野の本社機能などを誘致し、若者が望む質の高い雇用を創出していく。また、学生のUターンや移住促進にも取り組み、コロナ禍での価値観などの変化をチャンスと捉え、選ばれる茨城となるよう、スピード感を持って地方創生に取り組む。



中村 修 議員
いばらき自民党
取手市選出
一括方式

感染症対策を踏まえた災害時の避難

議員 市町村による避難所開設訓練を進めるとともに、過密状態を避けるための避難所の確保、分散避難を促す取り組みなどが必要だが、どう対策を講じていくのか。防災・危機管理部長 避難所の混雑解消など、市町村の訓練で課題となった事項は情報を共有し、改善を図る。また、宿泊施設などを活用した避難施設の確保やマイ・タイムラインの作成支援動画の公開など、県民が迅速・的確に避難できるように取り組んでいく。

新産業廃棄物最終処分場整備候補地への搬入ルート

議員 現在の想定搬入ルートは、交通渋滞や交通安全上の懸念があるため、新たな道路を整備する必要があると考えるが、所見は。知事 交通面の課題への対策のため、交通問題対策会議を設置した。新設道路の整備も含め、総合的に検討し、できるだけ早く方針を示すことで市民の懸念にこたえていく。(ほかに、医療分野へのICT化推進の取り組み、GIGAスクール構想における課題なども質問)



新産業廃棄物最終処分場整備候補地の状況

教員の負担軽減

議員 感染症対策を講じつつ、教員の業務負担の軽減にどのように取り組むのか。教育長 消毒作業や授業準備などを行う学校サポーターを全ての市町村立学校に配置する。また、県内十二校を働き方改革のモデル校に指定し、部活動指導の負担軽減や、デジタル教材などを活用した指導法の研修などに取り組んでいく。(ほかに、保健所の運営、不法就労・不法滞在対策なども質問)



感染症対策避難所設置演習、パーティション設置の様子(取手市提供)



八島 功男 議員
民主党
公土浦市選出
一括方式

困難を乗り越えるレジリエンス※2・スキルの醸成

議員 コロナ禍の休校で子どもはストレスを受けている。「自己肯定感・自尊心」「楽観志向・プラス主義」「他人に助けを求める」「被援助志向性」などのレジリエンス・スキル習得にどう取り組むのか。教育長 県では全ての児童生徒が参加し活躍できる授業づくり、他人の失敗や短所を受け入れる前向きな心の育成、面談やSNSによる心のケアなどに取り組んでいる。今後も支援を充実させ、レジリエンス・スキルの醸成に努める。



大瀧 愛一郎 議員
いばらき自民党
常陸大宮市選出
一括方式

少子化対策

議員 少子化対策には、第三子以上を諦めている人たちへの支援が必要である。特に多子世帯への経済的支援の充実が有効だと考えるが、今後どう取り組むのか。知事 三歳未満児について、第三子以降の保育料を完全無償化するなど、これまでも限られた財源の中で取り得る対策を講じてきた。引き続き、全ての県民が出産や子育ての希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるよう、少子化対策に全力で取り組む。

Park-PFI※3活用を踏まえた県営都市公園の今後のあり方

議員 借楽園で予定しているPark-PFI活用を踏まえ、他の県営都市公園の今後の在り方は。土木部長 県の都市公園は老朽化やサービス強化などの課題がある。魅力向上や集客力アップには民間の資金やアイデアが必要であり、Park-PFIを推進し、県民に親しまれる公園づくりに努める。(ほかに、保健所の役割と体制強化、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症対策なども質問)



県内初のPark-PFI制度を活用する借楽園拡張部月池周辺

県産木材の利用促進

議員 BP材※4などを活用し、公共建築物における県産木材の利用を一層促進してもらいたいと考えるが、今後どう取り組むのか。農林水産部長 木造建築物の大規模化に伴い必要となる、木材調達先やコスト圧縮方法を市町村に提供するなど、公共建築物の木造化・木質化を促進し、県産木材需要拡大の契機となるよう取り組む。(ほかに、医療機関への財政支援、狩猟の担い手確保なども質問)



県産木材の利用促進を(BP材の断面)

ことば ※3【Park-PFI】…自治体が、公園内で飲食施設や売店などの便益施設の設置・管理を行う民間事業者を公募により選定し、その民間事業者が、周辺の広場や園路なども一体的に整備・管理するもの。

※4【BP材】…乾燥したスキヤヒノキの製材を接着材で束ね重ねて作る新しい大断面木質材料であり、大規模建築物などへの木材利用が期待されている。

一般質問(要旨)



豊田 茂 議員
 所属 無所属
 選挙区 高萩市・北茨城市選出
 連絡先 一括方式

新型コロナウイルス感染症による
 風評被害対策

議員 医療機関の風評被害、医療従事者やコロナ感染者に対する差別解消にどのように取り組むのか。
 知事 県では不当な偏見・差別の撤廃のため、HPなどでの正確な情報の発信などに取り組んできた。さらに今定例会では、差別解消の措置を盛り込んだ条例を提出した。今後は、医療機関の感染症対策などを県民へ周知するほか、人権尊重の啓発動画やSNSメッセージの発信などにより、風評被害や偏見・差別の解消に努めていく。

グランピング※1の積極的な推進

議員 キャンプ場数日本一を誇る本県の強みを生かしたグランピング推進について今後の取り組みは。
 営業戦略部長 グランピングはウィズコロナ時代の観光振興に極めて効果的である。国内最大手の予約サイトと連携し、九月に県独自のキャンプ場ポータルサイトを開設した。今後も広報やグランピング施設への創出支援などに取り組む。
 (ほかに、データの情報共有、消防団への研修なども質問)



「キャンプと言えば茨城」というイメージの定着を(高萩市の「菰ビレッジ」)



石井 邦一 議員
 所属 自民党
 選挙区 常陸太田市・大子町選出
 連絡先 一括方式

公共事業費の確保

議員 公共事業投資は、経済対策や利便性向上のほか、災害の復旧復興など地域の安心安全な暮らしを築く意義もある。公共事業費の予算確保にどう臨んでいくのか。
 知事 コロナ禍により財政状況が厳しい中、大規模災害からの復旧・復興や防災・減災事業のほか、本県の経済・観光振興に資する事業を計画的かつ戦略的に推進していく。選択と集中の考えを徹底し、国の補助制度なども活用して安定的な予算確保に努めていく。

観光産業への支援

議員 感染防止啓発や需要の喚起など、新しい生活様式に対応する観光産業支援をどう進めるのか。
 知事 夏季に事業者へ「いばらきアマビエちゃん」登録を義務付けた「いばらき応援割」を実施した。さらに、大規模イベントとして、AR技術を活用したサイクルイベントの開催や、旅行者への感染防止啓発などの支援を進めていく。
 (ほかに、県総合計画の在り方、県北振興策の展開なども質問)



りんりんロードスタンプラリーイベントの様子

今定例会で可決された議案

- 議員等提出
- ◆条例の制定
 - 茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例
 - ◆知事提出
 - ◆令和二年度補正予算関係
 - 一般会計補正予算
 - ◆条例の制定及び一部改正
 - 茨城県新型コロナウイルス感染症の発生予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例
 - ◆その他
 - 県有財産の取得について
 - 県有財産の売却処分について(伊奈・谷和原丘陵部地区戸建住宅等用地)
- 意見書
- 小規模事業者に対する支援及び支援体制の拡充・強化に関する意見書
- 請願
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
- ◆人事
- 教育委員会委員の任命について
- ほかに一件
- ※意見書・請願の全文は議会ホームページでご覧になれます。

「茨城大学との相互連携・協力に関する包括協定」締結式および記念講演会を開催しました

茨城県議会と国立大学法人茨城大学は、九月二十四日、県議会議事堂において、相互連携・協力に関する包括協定を締結しました。

今回の協定は、相互の密接な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応するとともに、活力と魅力にあふれる地域づくりや、本県の将来を担う人材の育成に資することを目的としています。

今後は、大学から議会への有識者派遣や、議員による大学での講義、議員と学生との意見交換会の開催など、両者の連携を一層推進してまいります。

また、締結式終了後、協定の締結を記念して、茨城大学の太田寛行学長から、「SDGsと新しい茨城・産官学で共創する近未来」とのテーマで、ご講演をいただきました。太田学長からは、茨城大学におけるサステナビリティ学※4の研究・教育の取り組みや、SDGsの各目標に対する茨城県の課題、そして、その課題解決には産官学の連携が必要であるとお話がありました。



協定を締結した森田悦男議長(左から7人目)と太田寛行学長(右から7人目)



太田寛行学長による講演の様子

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

県オリジナル品種の梨「恵水」のトップブランド化戦略はブランドイメージの定着、全国的な知名度向上を図る

問 「恵水」は期待の梨品種である。特性をしつかりPRし、トップブランドに育成すべくと考えるが、戦略は。

答 厳選した果実を千正屋など高級店で販売し、ブランドイメージの定着を図るとともに、テレビなどメディアでの情報発信で全国的な知名度向上を目指す。併せて、糖度などの出荷基準の厳守など、産地指導で品質管理を徹底する。

問 農地の集積・集約について推進体制の一層の強化が必要と考えるが、県の対応は。

答 県・農地中間管理機構・市町村・農業委員会など関係機関一体となって、担い手や



県オリジナル品種の梨「恵水」

貸し出し可能な農地の情報を収集・共有して、効果的・効率的な集積・集約化に努める。また、農業委員会事務局の体制拡充を支援する。

(ほかに、農業用ハウスの強化対策、「常陸の輝き」^{※2}販売促進の取り組みなども質問)

総務企画委員会

砂沼サンビーチ跡地の活用は長らく愛された施設という認識の下、経営計画を含め検討する

問 砂沼サンビーチは四十年以上、地元で愛された施設である。跡地の活用にあたっては、民間の採算性ばかりでなく、しつかりとした計画性・持続性を備え、人が集まる県西地域の拠点施設とすべく検討して欲しいが、所見は。

答 同施設が、地元の人々に長らく愛されてきた施設であるという認識を持って、費用負担や経営計画の在り方を含め、跡地の活用についてきちんと検討していきたい。

問 新型コロナウイルス感染症対策休業要請協力が減額補正されているが、理由は。

答 統計資料などを参考に積



地元で愛され続けた砂沼サンビーチ

算をしたが、もともと休業要請時間帯に営業していない店舗など、統計では把握しきれない部分もあったため、当初の積算額からの乖離が生じた。(ほかに、RPA^{※1}の予算規模と成果、つくば国際会議場の管理運営なども質問)

土木企業委員会

道路点検分野における新技術の活用状況は土木研究所と共同研究で活用に取り組む

問 効率的な道路メンテナンス事業を実施するため新技術の活用推進が重要であるが、本県の点検分野における新技術の活用状況は。

答 土木研究所と点検分野の新技術活用に係る共同研究を行っている。試行的に橋りょうやトンネルでドローンや点検ロボットなど新技術を用いた研究をしている。実績を積み、さらなる活用に取り組む。

問 危機管理対策として、限られた人員の中で、事故や災害時における浄水場の応援体制の整備をどう考えるのか。

答 災害時には人員が不足するため、建設業協会など外部



ドローンによる橋りょう点検状況(国立研究開発法人土木研究所提供)

からの応援体制を整備している。また、浄水場ごとに勤務経験者のリストを作成し、状況に応じた応援人員の振り分けなどの体制を整備している。(ほかに、公共事業の平準化、観光振興に資する海岸部の土地利用なども質問)

防災環境産業委員会

在宅避難者に支援物資をどのように提供するのか支援物資の配布方法の揭示など情報提供を行う

問 今後、増加が予想される在宅避難者に対し、支援物資をどのように提供するのか。

答 県マニュアルで、支援物資の配布方法を揭示するなど、多様な手段で情報提供することとしている。市町村では、防災行政無線などで情報発信しており、在宅避難者にも支援していることを伝達するよう市町村に働きかけていく。

問 今後、どうデジタルを活用していくのが重要で、特に、人材育成が大事だが、どのように取り組んでいくのか。

答 昨年度から、「IoT・AI等活用人材育成講座」を実施、経営者向けにデジタル



IT関係の人材育成の推進を

知識習得のワークショップ、技術者向けにAIやIoTへの仕組みの理解やデータ分析を学ぶ講座を実施している。(ほかに、いばらきアマビエちゃん登録促進事業、ダイバーシティ推進センターの今後の取り組みなども質問)

文教警察委員会

増加が懸念されているDV事案への対応策は端緒情報^{※3}の把握と的確な対応に努めていく

問 新型コロナウイルスの影響により、生活不安やストレスによるDV事案の増加が懸念されているが、対応策は。

答 今後も感染防止対策による新しい生活様式という従来とは異なる環境が続くことから、DV事案の潜在化を防ぐために、あらゆる警察活動における端緒情報の把握と的確な対応に努めていく。

問 コロナ禍における児童生徒の相談体制について、SNS相談の通年化を含め、体制を一層充実させるために、今後どう取り組んでいくのか。

答 電話やSNSなど多様な受け皿を用意し、児童生徒の



いばらき子どもSNS相談の通年化

SOSをより確実に受け止め、迅速に対応することが何より重要である。SNS相談の通年化は、今後の状況や相談内容などを踏まえ検討していく。(ほかに、ニセ電話詐欺対策、学校サポーター配置事業なども質問)

保健福祉医療委員会

保健所の整備の考えは今年度中に、庁舎整備などに係る基本方針を策定する

問 保健所建て替えには時間がかかり、財源も必要となる。整備計画を策定して、取り組むべきと考えるが、所見は。

答 今回の新型コロナウイルス感染症により、保健所の庁舎や人員の問題が浮き彫りになったと認識している。今年度中に、「保健所庁舎の整備等に係る基本方針」を策定する。また、人員確保にも努め、保健所の機能強化に取り組む。

問 「いばらきアマビエちゃん」の通知を受けた場合は不安になる。安心のためには、公費で検査ができるようにすべきと考えるが、所見は。

答 感染者と、通知を受けた



保健所の整備推進を(建築後50年以上経過した筑西保健所の様子)

方の店舗利用時間が全く異なる場合もある。通知を受けた方への分かりやすい説明に努めていく。

(ほかに、あすなるの郷再編整備関連事業、こども病院の老朽化・狭あい化への対応なども質問)

予算特別委員会

●質問者

9月28日(月)



録画映像の録音は、質問はご覧いただけます。

田口 伸一 (いばらき自民党)

遠藤 実 (県民フォーラム)

山中 たい子 (日本共産党)

玉造 順一 (立憲民主党)

水柿 一俊 (いばらき自民党)

田村 けい子 (公明党)

村上 典男 (いばらき自民党)

田口伸一委員(自民) 観光事業者が、感染症対策を求める観光客の変化に対応し、コロナ禍を乗り越えられるように、どのように観光振興策を進めるのか。

知事 国の「Go Toトラベル事業」の効果を最大限に取り込むべく、感染症対策を講じ、新たな集客コンテンツとなる大型イベントの開催支援や、著名人を活用したプロモーションを展開する。また、3密を避けたアウトドアへの誘客にも取り組む。誘客と感染症対策を両立させ、旅行者の安心感を醸成し、早期に観光需要の回復を図る。(ほかに、コロナ禍における高校生の就職支援、信号機の整備なども質問)

遠藤実委員(県民) コロナ感染者などへの偏見・差別の抑制はモラルの問題だが、それを逸脱した行為が発生しており、歯止めが必要である。不当な偏見・差別を禁じる罰則規定付きの条例を制定すべきと考えるが、所見は。

知事 議案提出した不当な差別禁止などを盛り込んだ条例の制定と併せ、法務局、労働局、警察などの法的措置が可能な機関と連携を強化し、対応する。その上で取り組みの効果が不十分であれば、議会でも議論してもらい、罰則を含めた抑制力のある措置も検討する。(ほかに、いばらき子どもSNS相談、久慈川を活用した誘客策なども質問)

れば、議会でも議論してもらい、罰則を含めた抑制力のある措置も検討する。(ほかに、いばらき子どもSNS相談、久慈川を活用した誘客策なども質問)

山中たい子委員(共産) 県民からの国保引き下げの要望は切実である。特に子どもの数にも課税される均等割額^{※1}は、県国保運営協議会から「多子世帯負担に配慮が必要」との意見も出ており軽減すべきと考えるが、所見は。

知事 軽減措置導入を国に要望し続け、国の少子化社会対策大綱^{※2}に、子どもの数に応じた国保料の負担軽減を行う自治体の支援が明記された。早期実現に向け国に働き掛ける。県が市町村に交付する国保特別交付金^{※3}でも、多子世帯に着目した対応などを検討する。(他に、あすなろの郷再編整備、つくば特別支援学校分館新設なども質問)

玉造順一委員(立憲) 東京電力福島第一原子力発電所処理水の海洋放出に対する国の取り組みについて、これまでの経過をどう評価し、本県として今後どう取り組んでいくのか。

知事 処理水の処分について、地域社会や環境へ、より影響が出ない方法が本当にないか、検討経過を含めて具体的な説明を国へ強くお願いした。また、国民あるいは諸外国から理解を得られるよう丁寧に説明し、具体的な風評対策の内容を早急に示すよう、国に対し意見を述べたところである。(ほかに、水戸医療圏の現状と課題、コロナ禍の県民生活支援なども質問)

水柿一俊委員(自民) 新型コロナウイルス感染症の影響から、技能実習生など外国人材の不足が懸念されるが、対策は。

産業戦略部長 外国人材支援センターを活用し、解雇された技能実習生と県内事業者とのマッチングに努める。企業説明会などを通じ外国人留学生の県内定着を図るほか、外国と連携し、就職面接会の開催や、介護実習生の育成に取り組む。さらに、ICTを活用し、生産性向上や国籍に関わらず選ばれる就労環境の実現を図ること、中長期的な視野に立った人材確保に取り組む。(ほかに、企業等の農業参入、河川整備なども質問)

田村けい子委員(公明) 不登校対策では学びの機会の確保が重要である。フリースクールなど民間施設との連携や支援も含め、今後の取り組みは。

教育長 県では、家庭訪問やカウンセリング、各種相談などにより、学校への復帰に一定の効果も挙げている。また、不登校対策連絡協議会などにおいて、フリースクール関係者と情報交換を行っている。今後は、フリースクール利用の参考のため、活動や料金を一覧できる資料を作成・周知するなど、支援の在り方を前向きに検討していく。(ほかに、糖尿病重症化予防の推進、農業用廃プラ処理対策なども質問)

村上典男委員(自民) 生活に困窮している子どもたちを救うためにも、相談体制を充実するとともに、学校と関係機関とが連携し、適切な支援につなげる必要があるが、今後どう取り組むのか。

教育長 「いばらき子どもSNS相談」など子どもたちが相談しやすい体制を整備している。また、さまざまな家庭環境にある子どもたちをケアするため、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーや市町村との連携を強化し、適切な支援につなげていく。(ほかに、県民の暮らしを豊かにする企業誘致の推進、農作物等の盗難防止対策なども質問)

九月補正予算案が賛成多数で可決

新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止と経済活動の両立を図るために必要な事業などに必要な予算を計上した九月補正予算案(二百五億九千万円)が賛成多数で可決されました。

九月補正予算案に計上された主な事業(新・新規事業)

- (1) 感染拡大防止策と医療提供体制の整備など(百二十二億二千六百万円)
 - 新 いばらきアマビエちゃん登録促進事業
 - 新 介護・障害福祉施設などの感染拡大防止事業
 - 新 保育施設などにおける感染拡大防止支援関連事業 など
- (2) 県民生活などへの支援(二億四千二百万円)
 - 新 学校サポーター配置事業 など
- (3) 県内産業などへの支援(五十四億八千六百万円)
 - 新 県産水産物学校給食提供緊急対策事業
 - 新 就労継続支援事業所生産活動支援事業
 - 新 砂沼サンビーチ跡地活用調査事業 など
- (4) 県政の課題などへの対応(五十億九百万円)
 - 新 地域周産期母子医療センター施設・設備整備事業
 - ・ 国補公共事業(河川の護岸整備や掘削など) など
- (5) その他(二十四億五千五百万円の減額)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策休業要請協力金の実績見込みによる減額 など

お知らせ

次回の、令和2年第4回定例会は、11月25日から12月11日までの17日間の会期日程で開催される予定です。

| 月日 | 曜 | 議事予定 |
|--------|---|--------------------------|
| 11. 25 | 水 | 議会運営委員会、本会議(開会、知事提出議案説明) |
| 26 | 木 | 休会(議案調査) |
| 27 | 金 | 休会(議案調査) |
| 28 | 土 | |
| 29 | 日 | |
| 30 | 月 | 議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑) |
| 12. 1 | 火 | 本会議(一般質問・質疑) |
| 2 | 水 | 本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託) |
| 3 | 木 | 休会(委員会審査準備) |
| 4 | 金 | 休会(常任委員会) |
| 5 | 土 | |
| 6 | 日 | |
| 7 | 月 | 休会(常任委員会) |
| 8 | 火 | 休会(魅力向上に関する調査特別委員会) |
| 9 | 水 | 休会(決算特別委員会) |
| 10 | 木 | 休会(議事整理) |
| 11 | 金 | 議会運営委員会、本会議(委員長報告、採決、閉会) |

ことば

※1 【均等割額】…国民健康保険の加入者の数に応じて算定される額。(加入者数×均等割額)
 ※2 【少子化社会対策大綱】…総合的かつ長期的な少子化に対処するための施策の指針。令和2年5月29日閣議決定。
 ※3 【国保特別交付金】…県内市町村国保の状況に応じた財政調整などを行うため、県から特別交付金として市町村へ交付するもの。